

FARROW & BALL®

CRAFTSMEN IN PAINT AND PAPER

製品アドバイスシート

Masonry & Plaster Stabilising Primer

Farrow &

Ballの塗料はすべて水性であるため、低臭、低VOC（揮発性有機化合物）、速乾性に優れています。また、独自に実施したフランスの室内空気環境法令 No. 2011-321 - Arrêté April 2011

に基づいて、室内空気環境の最高ランクであるA+を獲得しています。

製品のサイズ: 5 L

日本総代理店 株式会社カラーワークス www.colorworks.co.jp e-mail info@colorworks.co.jp

塗装前の表面のクリーニング:

塗装前には、すべての表面が清浄で乾燥している必要があります。ほとんどの表面には、メーカーの指示に従い、薄めた中性洗剤の使用をお勧めします。高アルカリや酸性の強い洗浄剤、または溶剤ベースの洗浄剤は、残留物を広範囲に分散させ水性製品の塗布を困難にする可能性があるため、お勧めしていません。

製品情報:

多孔性で、白亜質で、不安定な（もろい）表面を埋めて安定させるために、Modern Eggshell と内壁/外壁を取り付ける前に室内のコンクリートの床に使用してください。優れた接着力をご提供します。まだ固まっていないコンクリートには使用できません。安定した石工の表面に対する一般的なプライマーとしては使用できません（裸または以前に塗装された）。

新しいモダン建築の表面:

使用前によくかき混ぜてください。塗装システムで新しく下塗りされた表面を塗装する前に、下塗りが完璧に乾燥されている必要があります。およそ3ヶ月間外気で乾燥されることが理想的です。完全に乾いたら、硬い毛のブラシで表面をブラシがけし、表面のほこりを取り除きます。10%に希釈した Farrow & Ball Exterior Masonry を使用し、まだ粉っぽい範囲を下塗りします。Farrow & Ball Masonry & Plaster Stabilising Primer を、安定した石工の表面に対する一般的なプライマーとして使用しないでください。適切に表面の準備が整ったら、ブラシまたはローラーを使用し Farrow & Ball Exterior Masonry を2度塗布し、へこんでいる部分や角度がある部分が厚くなりすぎないように注意してください。新たにセメント加工された表面に対しては、Farrow & Ball Exterior Masonry が利用可能ですが、水を加えること（10%の割合）で、安定した素地へ取り付ける際に役立てることができます。

コンクリート表面の塗装準備:

塗装前少なくとも3ヶ月間は、新しいコンクリートをコーティングしないで放置するようにしてください。古いコンクリート表面または不安定なコンクリート表面は修復し、穴を埋め、充填剤が保存に適切な状態になるまでに十分時間を置くようにしてください。完全に乾いたら、硬い毛のブラシで表面をブラシがけし、表面のほこりを取り除きます。Farrow & Ball Masonry & Plaster Stabilising Primer を使用し、まだ粉っぽい範囲を下塗りします。内装のコンクリートの床には、Farrow & Ball Masonry & Plaster Stabilising Primer を1度だけ塗布してから、Farrow & Ball Modern Eggshell を2度塗布します。新たに塗布する前に、推奨される時間乾燥させるようにしてください。Farrow & Ball Masonry & Plaster Stabilising Primer を、内装のコンクリートの床以外の安定したコンクリートの表面に対する一般的なプライマーとして使用しないでください。

コンクリートの床:

新しいコンクリートの床は打ち込み後、少なくとも3か月経過してから塗装してください。古くなって傷んだ塗装表面は再塗装前に補修し、でこぼこはフィラーで埋めてから十分な時間が経過した後、Farrow & Ball Masonry and Plaster Stabilising Primer を一層塗ります。コンクリートの床の再塗装: 汚れをよく落とし、不純物を取り除きます。剥がれや気泡がある古い塗料の部分はやすりで磨き、表面をざらざらにした後、Farrow & Ball Masonry & Plaster Stabilising Primer を打ち放しコンクリートに塗ります。

床下暖房:

塗装をする48時間以上前にスイッチを切り、塗装表面の温度を下げておきます。塗装が終了したら、48時間以上経過してから暖房のスイッチを入れてください。

新しいもしくは塗装されていない内部石膏（モダン建築）の準備方法:

塗装する前に、新しい石膏を完全に乾燥させてください。完全に乾いたら、硬い毛のブラシで表面をブラシがけし、表面のほこりを取り除きます。お好みの2色で2度完全に塗布する前に、トップコートにあった色調（下の希釈方法を参照）に希釈した Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat を塗布します。注：BS規格6150:2006では、新しく石膏が厚さ5mm塗布されるごとに、7日間乾燥させることを推奨しています。Farrow & Ball Masonry & Plaster Stabilising Primer を、安定した石膏の表面に対する一般的なプライマーとして使用しないでください。

Exterior Masonryを使用して、古い外装の下塗りする方法:

安定していない表面は、追加的なペイントレイヤーに耐えることができない可能性があるため、問題がある場合は、プロにアドバイスを求めることをおすすめします。ひび割れやセメントのゆるみなどの重大な構造的な損傷を伴う表面については、塗料を塗布する前に修復される必要があります。修復されたもしくはひどく劣化した範囲については、Farrow & Ball Masonry & Plaster Stabilising Primer を1度下塗りし、次にブラシもしくはローラーで Farrow & Ball Exterior Masonry を2度塗布します。へこんでいる部分や角度がある部分が厚くなりすぎないように注意し、新たに塗布する前に、乾燥するまでに推奨される時間を置くようにしてください。真菌または藻類に汚染された表面は殺菌性の洗剤で殺菌した後、完全に乾燥させる必要があります。Farrow & Ball Masonry & Plaster Stabilising Primer を、安定した石工の表面に対する一般的なプライマーとして使用しないでください。

マスキング:

マスキングテープにはさまざまな粘着レベルがあります。必ず装飾に適した品質のマスキングテープを使用してください。一部のマスキングテープは独自のペイントロック技術を使用しており、優れた結果をもたらします。

吹き付け塗装をする前の準備:

Farrow & Ballのペイントを所定の表面に吹き付ける場合、表面の下地処理の良し悪しによって、仕上がり結果が変わってくることを忘れてはいけません。ほとんどの表面は、油分を取り除いてきれいにしてから、表面を充填し、サンディングをしたうえで、適切にプライマー処理または下塗りをする必要があります。また、選択したFarrow & Ballの仕上げ剤を吹き付ける前に、必要に応じて塗装と塗装の間に仕上げ用のサンドペーパーを使って平らにし、滑らかな平面を作ることもお勧めします。このプロセスを数回繰り返すことで、ご希望の仕上げに適した満足のいく表面を得ることができます。

スプレー設定:

警告！スプレーすると、呼吸に有害な飛沫が形成されることがあります。スプレーやミストを吸入しないでください。
エアレススプレー：410のノズルチップと最低60barの空気注入圧力という一般的なセットアップで、最良の仕上がりが可能です。これらはほとんどのエアレススプレーシステムの一般的な設定値であり、使用するエアレススプレー装置のメーカーやモデルによっては、ノズルチップの空気圧を調整する必要があります。HVLPスプレー器具の種類により、水で塗料を希釈してください。(最高30%) エアコントロールバルブ、流量調節、ファンのサイズ、スプレーパターンの設定を調整し、厚紙や目立たない箇所を使ってお望みの仕上げとなるまで試し塗りをします。十分な塗り重ね時間を取り、各層を乾燥させながら、数回薄く塗布します。

用具洗浄:

ブラシやローラーからなるべく多くの塗料を取り除いてください。
ぬるま湯または石鹼水で刷毛ならびにローラーを洗浄してください。

他の用途:

こちらでご案内している以外の用途で Farrow & Ball の製品をご使用になる場合は、弊社までご相談ください。株式会社カラーワークス www.colorworks.co.jp e-mail info@colorworks.co.jp

作業時の気温:

気温が10°C未満、あるいは

30°C以上の場所で使用しないでください。直射日光が当たる場所で使用しないでください。雨が降りそうな場合は使用しないでください。

午前中の早い時間に作業を開始し、(結露が発生しやすくなる)

夕方までに十分に塗料が乾燥するようにするとより良い仕上がりとなります。

塗布面積 (㎡/ℓ 一層あたり):: 最大20㎡

乾燥時間: : 乾燥時間 2 時間

塗り重ね時間(標準):: 4 時間

標準塗装回数: :1 回

注意:

乾燥時間、塗り重ね時間は通常の条件で塗装を行うことを前提としています。乾燥時間は低温の場所や高湿の場所では長くなる場合があります。

暗い色は乾燥時間が長くなる場合があります。

窓やドアを塗装した後は、塗料が完全に硬くなっていることを確認してから閉めてください。

比重: : 1.2 - 1.4 g/cc

湿潤フィルムの厚さ: : 80 - 120 μm

アプリケーション湿度: : < 80 % RH

基質水分含有量:

石膏の壁と天井= <0.5%: 外観レンダリング= <0.5%

DIN EN 1062 3 (w24 [kg /m²√24h]) に準拠した液体の透水性:

0.02 (Class III, limit <0.1) を遵守 塗装後24時間の塗装面1m² 当たりの水分吸収量です。

w24の数値が小さいほど、塗膜の耐水性が高いことを意味します。塗料の水分吸収率はClass IからClass IIIまで等級分けされています。

DIN EN ISO 7783 2 (sd [m]) に準拠した水蒸気透過度 (透過度):

0.142 (Class II, limit >0.14 <1.4)を遵守 塗膜の水蒸気に対する耐性を空気の厚さ (単位:メートル) で示しています。sd値が小さいほど、塗膜の通気性が高いことを意味します。塗料の通気性はClass IからClass

IIIまで等級分けされています。この場合のClass IIIは中程度の通気性であることを示しています。

保管の際の注意事項:

本製品は水性であり、凍結や極端な温度から保護する必要があります。購入から6ヶ月以内のご使用をお勧めしますが、この日付以降の内容物やパッケージの劣化については責任を負いかねます。本製品は、通常の条件下で腐敗を防ぐための防腐剤を含んでいます。汚染を最小限に抑え、保存性を高めるために、使用前に製品を清潔な塗料用の容器に移し、使用の前後にすべての道具を徹底的に洗浄することをお勧めします。開封と使用を繰り返すと、微生物汚染のリスクが高まる可能性があります。

したがって、製品の保存期限を最大化するために、開封は最小限にとどめることをお勧めします。

環境、廃棄に関する注意事項:

内容物/容器を国際・国・都道府県、又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

VOC含有量に関する情報:

超低VOC。本製品は最大2g/l のVOCを含有しています。

処方:

アクリルバインダーを使用した水性プライマー

安全衛生上の注意事項

1.使用前に取り扱い説明書を入手してください。2.すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。3.粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないでください。4.この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないでください。5.保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください。6.飲んだり・目に入れたり・皮膚に付着しないようご注意ください。【緊急時、及び応急処置】a飲んではしまった場合：ただちに水を与え医師の診断/手当を受けてください。b目に入った場合：大量の流水で洗い流し医師の診断/手当を受けてください。c皮膚に付着した場合：大量の石鹼水で洗い流し、痛みや異常がある時は医師の診断/手当を受けてください。7.ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断/手当を受けてください。8.施錠して子供の手の届かないところに保管してください。9.内容物/容器を国際・国・都道府県、又は市町村の規則にしたがって産業廃棄物として廃棄してください。10.本来の用途以外には絶対使用しないでください。11.衣類に付着した場合は、速やかにすべての汚染された衣類を脱ぐか付着物を取り除いてください。再使用する場合には洗濯してから着用してください。12.使用中・保管中は直射日光・水漏れ・凍結は厳禁です。輸送中・保管中は40℃以上、5℃以下にせず。きちんとフタをして、換気の良い場所で保管してください。13.塗装中・乾燥中は適切な換気が行える場所でご使用ください。14.取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。15.環境への放出を避けてください。容器からこぼれた時には、砂など散布した後、処理してください。警告！スプレーすると、呼吸に有害な飛沫が形成されることがあります。スプレーやミストを吸入しないでください。塗装前に行うケレン作業（下地処理）の際には、ほこりの発生を最小限に抑え、予防措置として適切な呼吸用保護具（PPE）を着用する必要があります。

リードアドバイス：

施工前にはSDSを熟読し理解した上で、必ず試験施工をし、下地との密着を確認してください。雨や雪・湿度が高い日は避け、天気の良い日に塗ってください。気温、被塗物の温度が10℃以下・32℃以上・湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装をさけてください。マスキングテープは塗料が完全に乾く前にはがしてください。使い終わった道具は新聞紙などで塗料をよく拭き、乾く前に水でよく洗ってください。密着の悪い素材にはシーラー処理をしてください。重ね塗りをする際は、下地が完全に乾燥していることを確認してから施工してください。下地が動いた場合は、クラックが発生する場合があります。

お問い合わせ：

カラー、塗料仕上げ、壁紙に関するお問い合わせは弊社までご連絡ください。株式会社カラーワークス www.colorworks.co.jp e-mail info@colorworks.co.jp

免責事項：

この仕様シートに記載されている情報および技術的アドバイスは、口頭、書面、あるいは実演によるものであり、ガイダンスとして誠意を持ってご案内しているものですが、塗装技術および現場条件について弊社では管理できかねるため、一切の保証をいたしません。詳細は、弊社のカスタマー・サービス部までお問い合わせください。そのような使用から生じた製品性能に関して、納入製品の価格を越える責任は負いかねます。これはお客様の法的権利に影響するものではありません。

Issue Date: 16/09/2022